

西麻布二丁目児童遊園の再整備について

西麻布二丁目児童遊園の再整備について、区民参画により地域の意向や特性を反映し、基本設計を策定しました。

1 施設の概要

- (1) 所在地
港区西麻布二丁目18番9号
- (2) 面積
914.61㎡
- (3) 開設年月日
昭和56年4月1日



2 背景

西麻布二丁目児童遊園は、周囲を擁壁や住宅に囲まれていることに加え、遊具の老朽化も進んでいることから、子どもの利用が少なく、大人のトイレや休憩などが主な利用となっています。また、入口が接する道路と高低差があり、バリアフリーに対応していないことなどに対し、時代に即した施設の整備が求められていました。

そのため、港区基本計画において、当該児童遊園を令和8年度までに再整備することとし、令和5年度から、区民参画により地域の意向や特性を反映する基本設計を進めてきました。再整備に当たっては、老朽化した遊具や児童遊園トイレなどの施設を一新し、バリアフリーに対応させることにより、子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、大人にとっても身近なコミュニティ形成の拠点となる児童遊園とすることとしました。

3 区民参画による検討

令和5年度から令和6年度にかけて児童遊園に隣接してお住まいの区民、児童遊園周辺の町会、小学校PTA、保育施設管理者で構成する懇談会を開催し、意見交換を図りながら再整備案の検討を進めました。

- (1) 懇談会参加者 計12名
近隣区民7名、麻布上筈町会1名、青南小学校PTA2名、区立西麻布保育園1名、青南保育室1名

(2) 懇談会の開催状況

令和5年11月1日 第1回懇談会
令和5年12月5日 第2回懇談会
令和6年1月10日 第3回懇談会
令和6年5月20日 第4回懇談会
令和6年6月20日 第5回懇談会

(3) 懇談会で寄せられた主なご意見

- ア 遊具に対するご意見（特色のある遊具、幅広い世代の子どもたちが利用できる遊具など）
- イ トイレに対するご意見（子どもや女性が安心して使えるきれいなトイレが良いなど）
- ウ 植栽に対するご意見（サクラや花が咲く樹木が欲しいなど）
- エ 防犯対策に対するご意見（トイレ裏の死角対策、防犯カメラの設置など）

4 基本設計の内容

本設計は、「港にぎわい公園づくり推進計画」及び「「進めよう！おもてなし公衆トイレ」整備方針」を踏まえるとともに、地元懇談会での区民意見を反映し、取りまとめました。

(1) コンセプト

- ア 誰もが一緒に、笑顔で遊べる児童遊園
- イ 地域に親しまれ、安全・安心の場となる児童遊園
- ウ 広場中央の既存樹木や草花を活かした緑あふれる児童遊園

(2) ゾーニング、動線計画

- 出入口：周辺の道路環境を踏まえ、出入口は南側1か所に集約した。
また、利便性や維持管理上の必要性から、従前と同様に、階段、車両用スロープを設ける。
- 園路：道路と児童遊園敷地に高低差があるため、児童遊園外周に4%勾配のスロープ園路（約35m）を設ける。
- 広場：遊具広場を東西に分散して配置し、子どもたちが自由に遊べる広場（約160㎡）を中央に設ける。
- 植栽：象徴的な広場中央の3本の既存樹木（ケヤキ、イチョウ）を生かしながら、東西側境界は、隣接住民に配慮して中木及び低木を設ける。
また、北側はトイレ横にシンボルツリーとしてサクラを設けるとともに、アドプト・プログラムでボランティアが管理することを想定した花壇を設ける。
- その他：トイレは従前と同様の場所に配置する。

(3) 施設計画

園路広場：出入口及びトイレ前は高炉スラグ舗装、東西の遊具広場はゴムチップ舗装、中央の広場は岩瀬砂舗装

遊戯施設：複合遊具（1基）、ブランコ（1基）※、鉄棒（1基）、パーゴラ付き砂場（1箇所）、健康器具（2基）

※ ブランコは、自分で姿勢を維持するのが難しい子どもたちも利用できるハンモック型のインクルーシブな遊具を採用

休養施設：水飲み（1基）、ベンチ（5基）、ロングベンチ（1基）

修景施設：花壇（1か所）

管理施設：園名板（1基）、遊具説明板（1基）、車止め（5基）、公園灯（3基）、防犯カメラ（4基）

便益施設：水飲み場（1基）、時計塔（1基）、トイレ（1棟）※

※ トイレは、男女兼用バリアフリートイレ、女性専用トイレ、男性専用トイレ

防災施設：防災用井戸（1基）、災害用トイレ（3基）※

※ トイレ地下ピット（100人が3日間利用できる容量）を設置し、トイレ個室を防災用トイレとして転用可

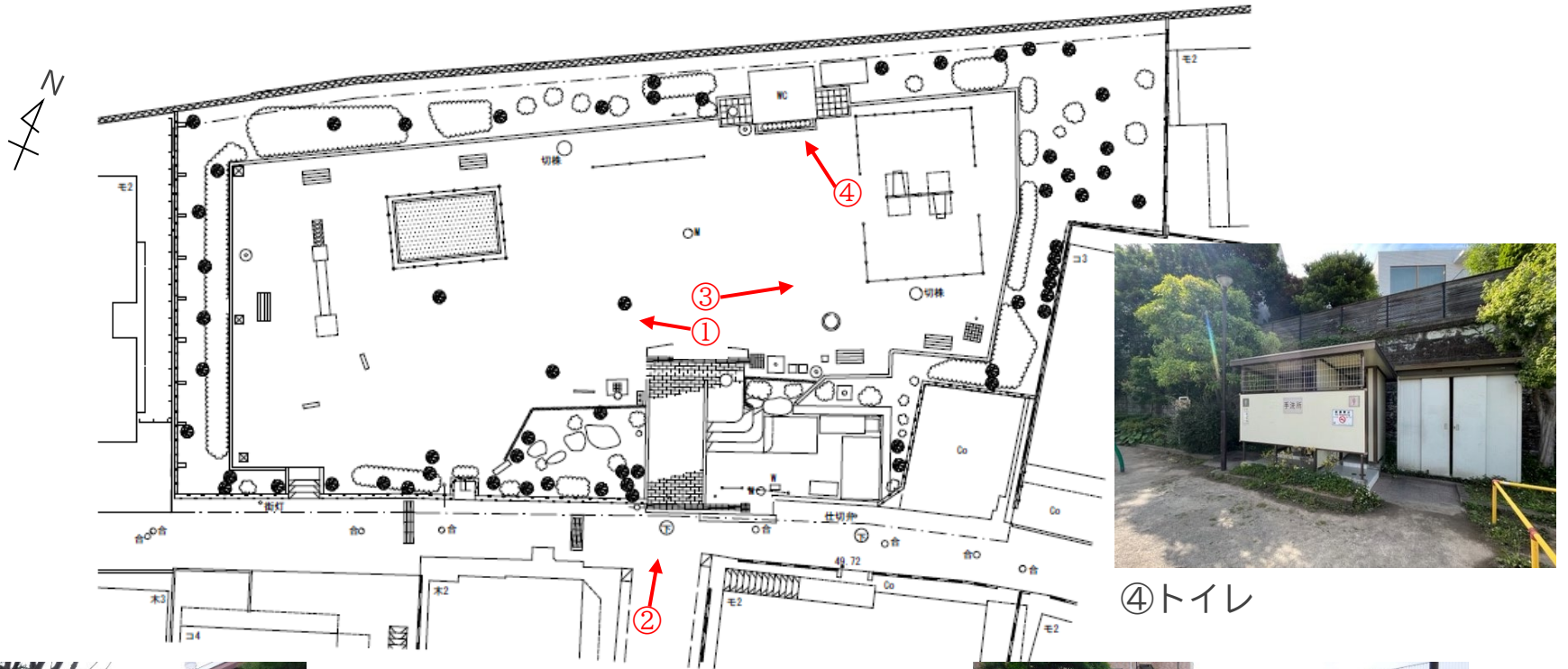
防犯施設：防犯カメラ（4基）、人感センサー付照明（2基）、照明柱（2基）

その他：低炭素の取組として、トイレ木格子フェンスなどへの協定木材の活用や、トイレ屋上に太陽光パネルを設置

5 今後のスケジュール（予定）

令和6年8月	地元説明会
12月	実施設計完了
令和7年2月	第1回定例会（工事契約議案）
3月	再整備工事着工
令和8年度上半期	再整備工事しゅん工、供用開始

従前の西麻布二丁目児童遊園の現況平面図及び写真



④トイレ



① 公園西側



②公園入口

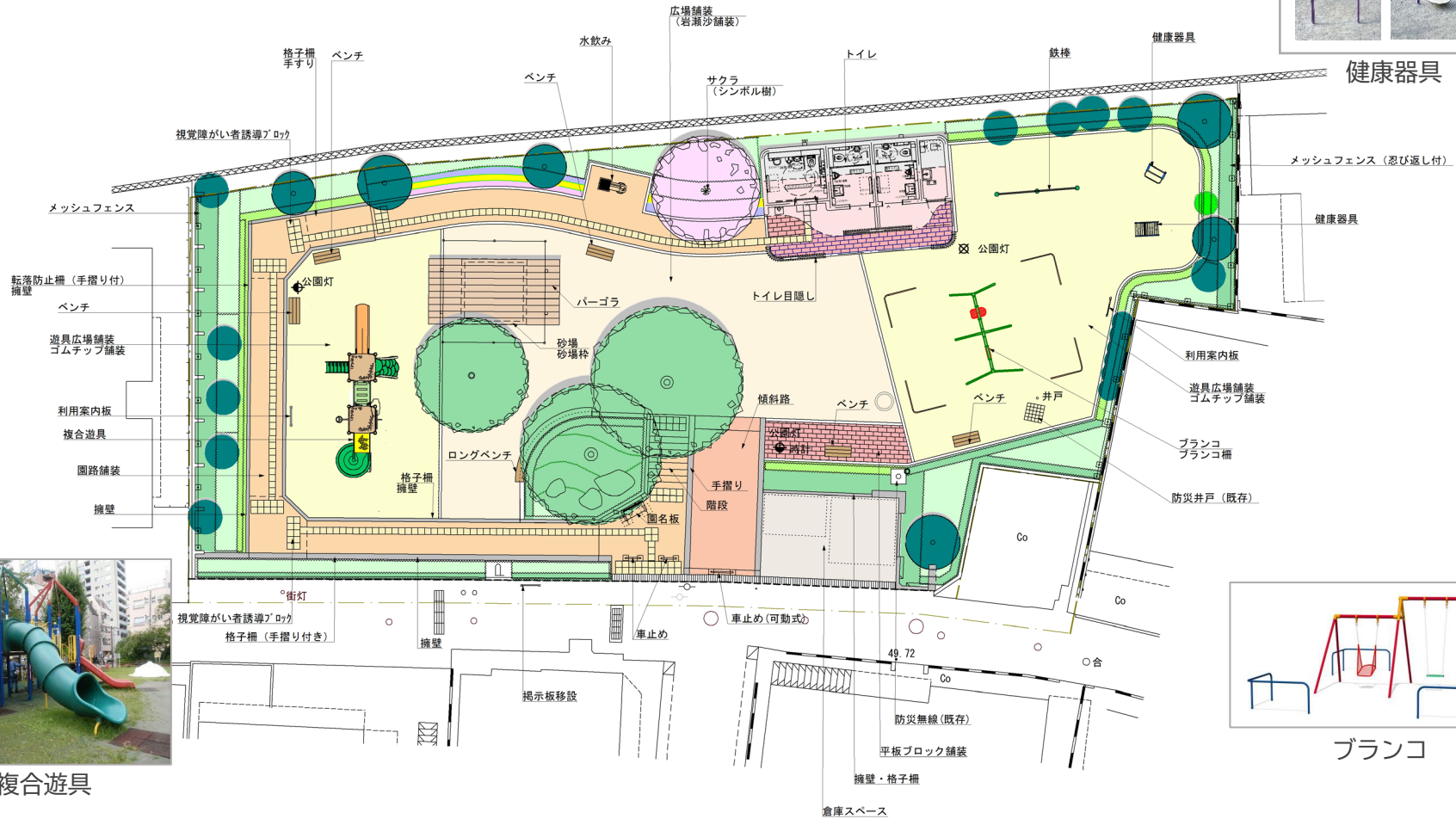


③公園東側

西麻布二丁目児童遊園基本設計図



健康器具

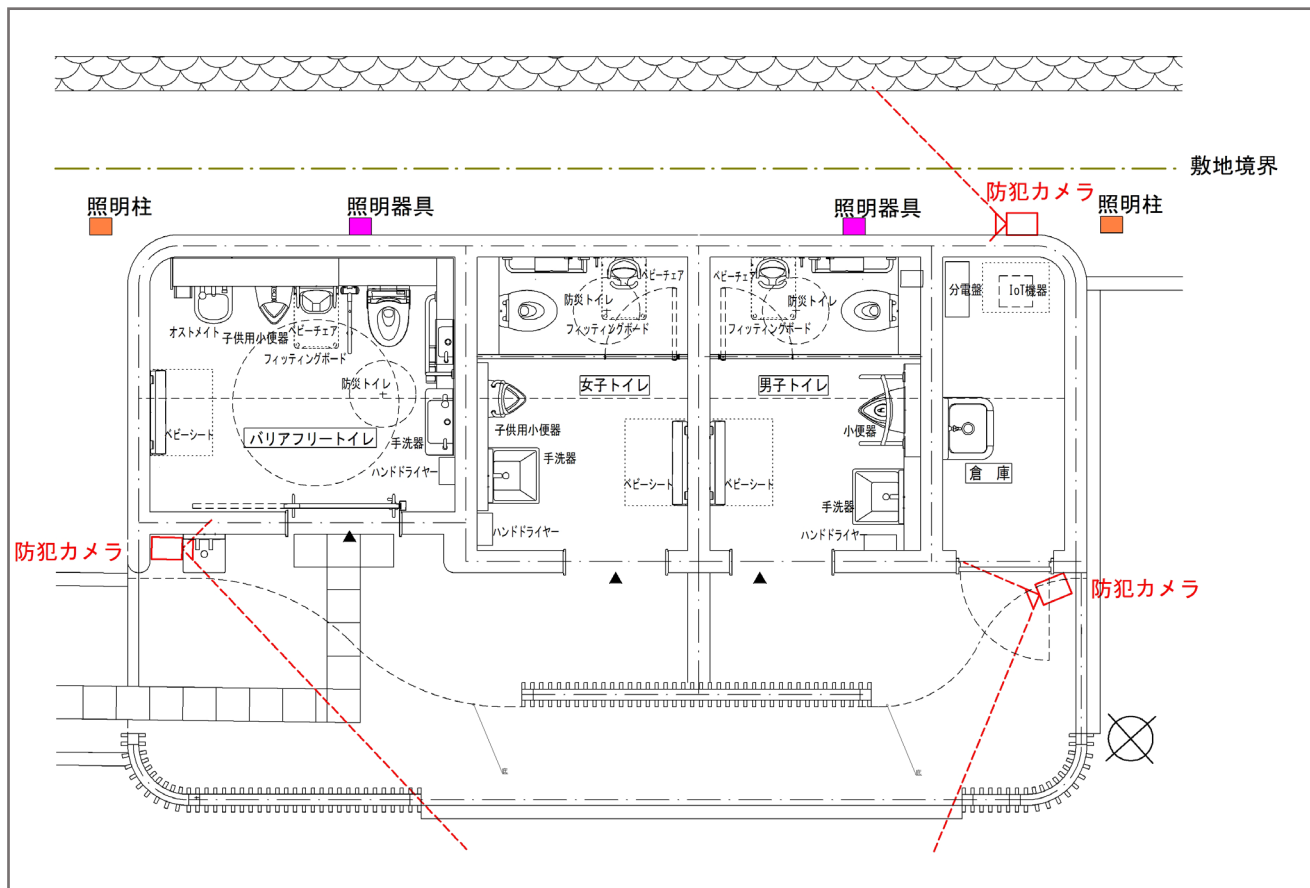


複合遊具

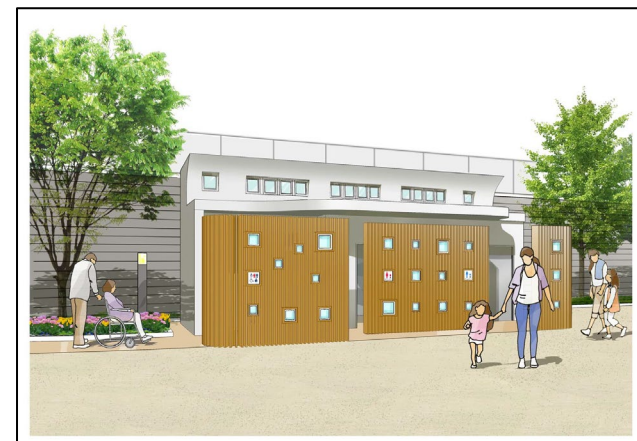


ブランコ

西麻布二丁目児童遊園 トイレ計画 (案)



トイレ計画 イメージパース



西麻布二丁目児童遊園 鳥瞰イメージ図



懇談会での主なご意見及び区の考え方

■令和5年11月から令和6年5月 懇談会（計4回）

No.	テーマ	ご意見	区の考え方
1	遊具	幼児が遊べるような遊具が欲しい	幅広い世代の子どもが遊ぶことのできる複合遊具を設置します。
2		幼児だけでなく小学生も楽しめる遊具が欲しい	
3		大人も使える健康器具が欲しい	健康器具のハングバーとバックボウベンチを設置します。
4		他の公園にはない特色のある遊具が欲しい	障害の有無や年齢、性別にかかわらず、誰でもが同じ場所で楽しむことができるインクルーシブ遊具を導入します。具体的には、自分で姿勢を維持するのが難しい子どもたちも利用できるハンモック型のブランコを設置します。
5	広場	子どもが走りまわれるスペースが欲しい、のびのびと広く使いたい。	子どもたちが自由に遊べる広場を中央に設けます。
6	トイレ	子どもや女性が安心して使えるきれいなトイレが良い	安心・安全に配慮したトイレを設置します。
7		未使用時、扉に鍵がかかっているのは不安。何らかの対策をとって欲しい	トイレの前面に格子状の目隠しを設置し、男性用・女性用トイレの入口に扉は設けません。
8		手洗いを個室の外に出して欲しい	個室の外にも子どもでも使いやすい高さが低いタイプの手洗い場を設置します。
9		トイレの裏側が死角になっていて防犯面が不安なので人が入れないようにして欲しい	トイレ裏側の敷地は、一部が隣地敷地となっているため、完全に閉鎖することができませんが、トイレの裏側に防犯カメラ、照明柱、人感センサーの照明器具を設置するなどの防犯対策を行います。
10		正面の目隠しフェンスは防犯面に配慮した計画にして欲しい	目隠しを縦格子とすることで、人の気配を感じられながらもプライバシーに配慮したデザインとします。
11	スロープ	広場のスペースを圧迫しているため、なるべく有効活用できるようにして欲しい	スロープを使用する人の支障とならない幅員を確保した上で、なるべく広場を広くとれるよう検討します。

No.	テーマ	ご意見	区の考え方
12		サクラや花が咲く樹木が欲しい	道路から見て正面の位置、トイレの隣にシンボルとなるサクラを植栽します。 また、花の咲く樹木、季節を通して草花を楽しめる植栽を検討します。
13		周囲の既存の樹木がうっそうとしている	近隣にお住まいの方々のご意見を踏まえ、見通しのよい植栽を検討します。
14		地域の方と協力して、花を植えたりするスペースが欲しい	地域の方が草花を植えられる花壇を設けます。
15	その他	防犯カメラを設置して欲しい	トイレに3か所、児童遊園入口に1か所防犯カメラを設置します。
16		児童遊園になる前のお屋敷があった頃からある庭石を残して欲しい	庭石は既存のケヤキの根本に修景的な植栽地を設け、庭石を移設します。
17		夜間の照明は明るくなり過ぎないようにして欲しい	周辺の住宅に配慮をした照明計画とします。